

LAC → D ←
supports your business

*We provide IT total solutions
based on advanced security technologies.*

LAC
ともに、イキル

2020年3月期 第1四半期決算説明資料

2019年8月8日

株式会社ラック

1. 2020年3月期 第1四半期決算概要

2. 2020年3月期 連結業績予想

3. 補足資料

売上高は増収、利益は社内ITシステムの刷新など 業務効率向上のための投資もあり大幅減益

（百万円）

科目	'19年3月期 1Q累計実績	'20年3月期 1Q累計実績	前年同期比増減	
			増減額	増減率(%)
売上高	8,749	9,166	+417	+4.8
営業利益	118	△145	△263	-
営業利益率%	1.4	△1.6	△3.0p	-
経常利益	115	△111	△226	-
経常利益率%	1.3	△1.2	△2.5p	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	17	△74	△92	-

SSS事業は増収減益、SIS事業は減収減益 社内ITシステム刷新やオフィス開設などの投資で全社共通費用が増加

（百万円）

売上高	'19年3月期 1Q累計実績	'20年3月期 1Q累計実績	前年同期比増減	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	3,194	3,653	+459	+14.4
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	5,555	5,513	△41	△0.8
合計	8,749	9,166	+417	+4.8

（百万円）

セグメント利益	'19年3月期 1Q累計実績	'20年3月期 1Q累計実績	前年同期比増減	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	364	293	△70	△19.4
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	548	526	△21	△3.9
全社共通費用	△794	△965	△171	-
合計	118	△145	△263	-

※セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の、事業にかかる販売費および管理費を含めた利益です。

製品販売の伸長により増収、新サービス立ち上げに伴う償却費増により減益

●コンサルティングサービス

サイバー攻撃による事件・事故発生に伴い緊急対応サービス案件が拡大した一方、企業内対策チームの運用支援などの案件が減少

●運用監視サービス

新規案件の獲得が伸び悩んだものの、中部地域大手製造業向け運用監視サービスの売上が拡大

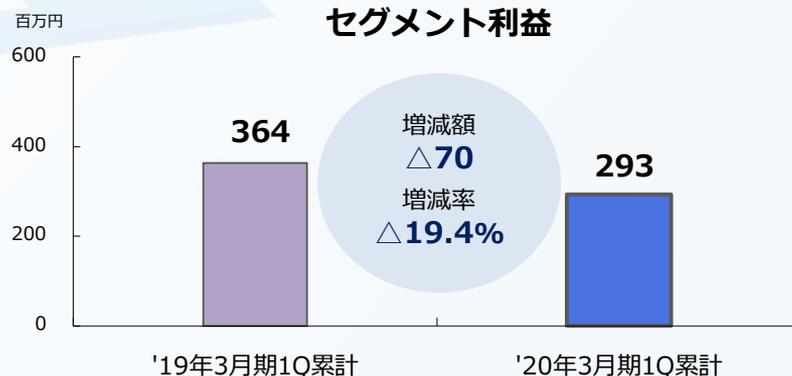
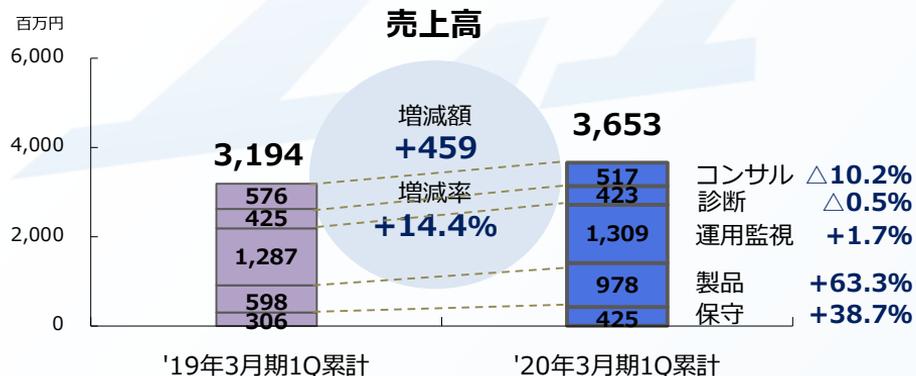
●診断サービス

企業内ネットワークなどの脆弱性を審査するプラットフォーム診断は伸長したものの、Webアプリケーション診断などが伸び悩み

●製品販売

サービス妨害型攻撃に対応した製品が拡大するとともに、潜在的脅威情報を調査する製品の販売も寄与

新サービス立ち上げに伴う減価償却費の増加等によりセグメント利益は減益



HW/SW販売が拡大したものの、開発サービスの減少により減収減益

● 開発サービス

情報サービス業向けの案件が堅調に推移したものの、前年同期の大型案件による売上計上が当第1四半期にはなかったことや新規受注案件の獲得に遅れ

● IT保守サービス

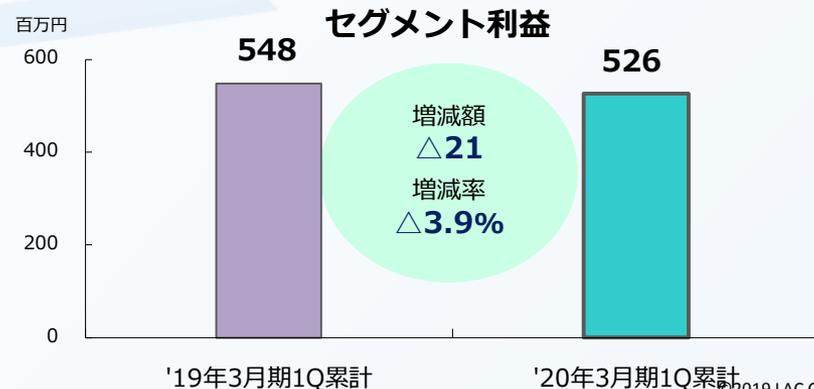
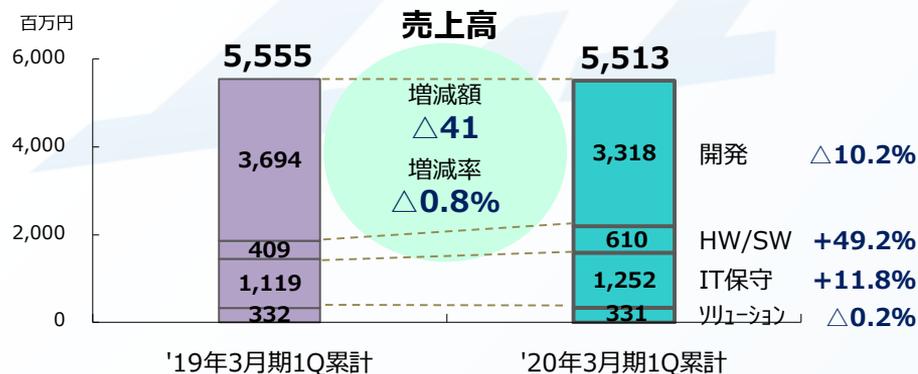
前期のHW/SW販売は低調であったものの、契約更新案件等が増加

● HW/SW販売

クラウドサービスの拡大などにより需要は縮小しているものの、更新案件などの獲得が堅調

● ソリューションサービス

子会社の(株)ジャパン・カレントが提供するデジタルマーケティングサービスの売上が伸び悩み



事業上の必要資金を保持しつつ、安定した財務基盤を維持

(百万円)

科目	'19年3月期末	'20年3月期 1Q末	前期末比 増減
資産合計	22,613	20,278	△2,335
流動資産	16,464	13,699	△2,765
固定資産	6,148	6,578	+430
負債合計	11,308	9,183	△2,124
流動負債	9,632	7,514	△2,117
固定負債	1,675	1,668	△6
純資産合計	11,305	11,094	△210
現預金	4,343	4,628	+285
有利子負債	2,351	2,326	△25
自己資本比率	50.0%	54.7%	+4.7p

増減ポイント

資産

【流動資産】

- ・その他に含まれる前払費用の減少 △2,774
- ・受取手形及び売掛金の減少 △2,272
- ・その他に含まれる前渡金の増加 +790
- ・商品の増加 +695
- ・仕掛品の増加 +452

負債

【流動負債】

- ・その他に含まれる前受収益の減少 △2,543
- ・その他に含まれる前受金の増加 +759
- ・未払法人税等の減少 △449

純資産

【純資産】

- ・利益剰余金の減少 △200

1. 2020年3月期 第1四半期決算概要

2. 2020年3月期 連結業績予想

3. 補足資料

売上高は大幅増を見込む。利益は社内基幹システムや拠点拡充など 将来の成長に向けた投資を行うため、小幅増益に留まる見込み

(百万円)

科目	'19年3月期 通期実績	'20年3月期 通期予想	前期比増減	
			増減額	増減率(%)
売上高	38,719	44,000	+5,280	+13.6
営業利益	2,366	2,500	+133	+5.7
営業利益率%	6.1	5.8	△0.4 p	-
経常利益	2,411	2,530	+118	+4.9
経常利益率%	6.2	5.8	△0.4 p	-
親会社株主に帰属する当期純利益	1,547	1,700	+152	+9.9
自己資本当期純利益率(ROE)%	14.5	14.0	△0.5 p	-

- (注) 1. 中間業績予想につきましては、情報サービス業界は売上高・利益が下期偏重となる傾向にあり、当社も例年その傾向が表れ、短期的に業績が大きく変動する可能性等があることから開示しないこととしました。
2. (株)日本貿易保険との契約に関わる2019年3月期の仕掛分については、同社との協議には時間がかかることも予想されることから上記通期業績予想には含んでおりません。

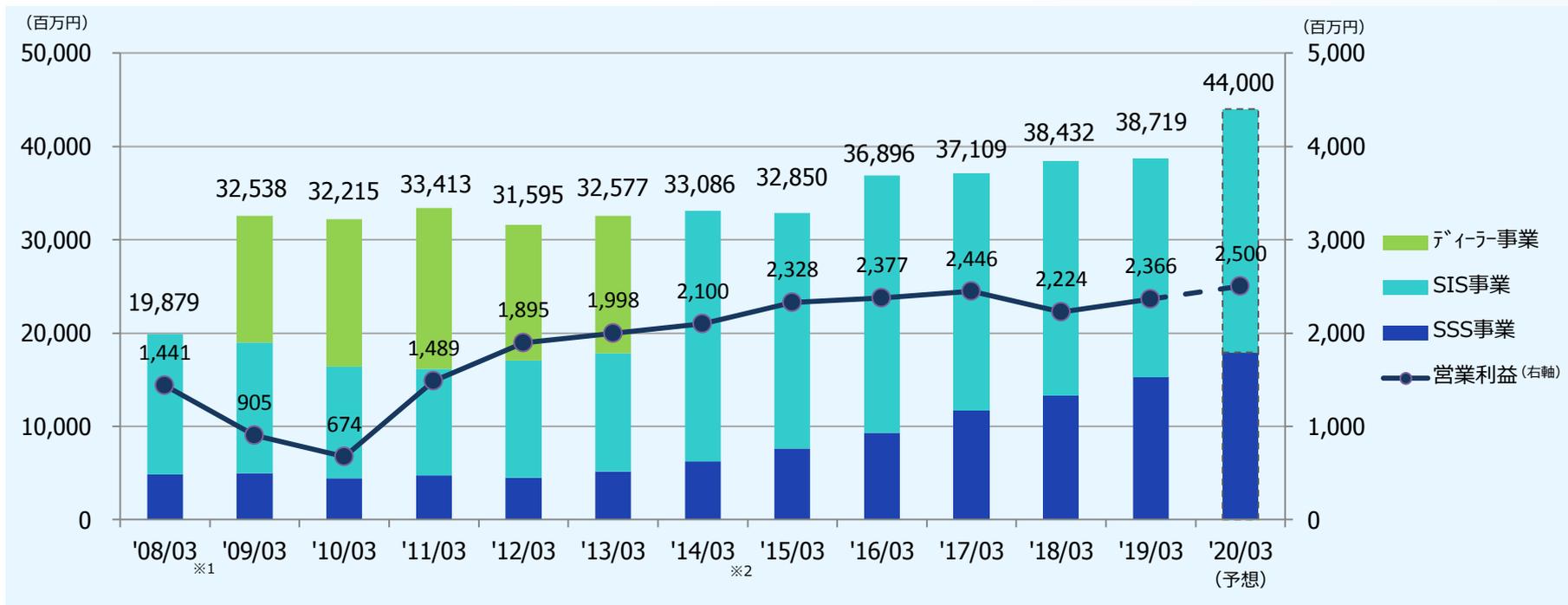
SSS事業、SIS事業ともに増収増益を見込む

(百万円)

売上高	'19年3月期 通期実績	'20年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	15,337	18,000	+2,662	+17.4
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	23,381	26,000	+2,618	+11.2
合計	38,719	44,000	+5,281	+13.6

(百万円)

セグメント利益	'19年3月期 通期実績	'20年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	2,632	3,150	+517	+19.7
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	2,800	3,500	+699	+25.0
全社共通費用	△3,066	△4,150	△1,083	△35.0
合計	2,366	2,500	+133	+5.7



※1 旧ラックとA&Iの経営統合初年度である'08年3月期の業績には、旧ラックが決算期を12月から3月に変更したことから旧ラックは'07年1月1日～'08年3月31日までの15ヶ月決算を反映していますが、本資料では、同一期間で比較するため'07年1月1日から'07年3月31日までの旧ラックの個別業績（売上高2,019百万円、営業利益329百万円）を差し引き、1年換算とした場合の想定実績で記載しています。

※2 事業セグメントの変更は'15年3月期からですが、セグメント別の業績を比較するため、その前年度である'14年3月期も同条件で組み替えた場合の想定実績で記載しています。

1. 2020年3月期 第1四半期決算概要
2. 2020年3月期 連結業績予想
- 3. 補足資料**

2020年3月期 連結業績（四半期）

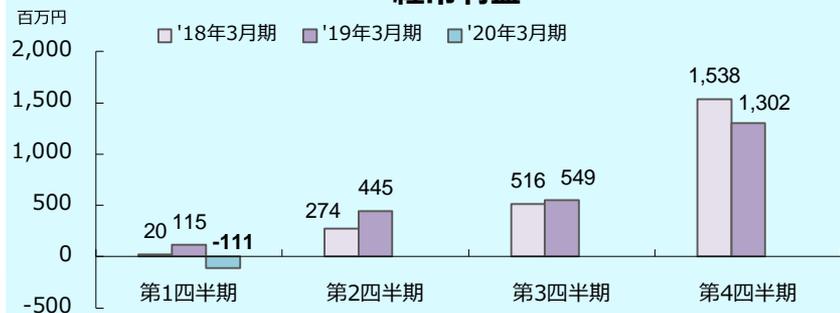
売上高



営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



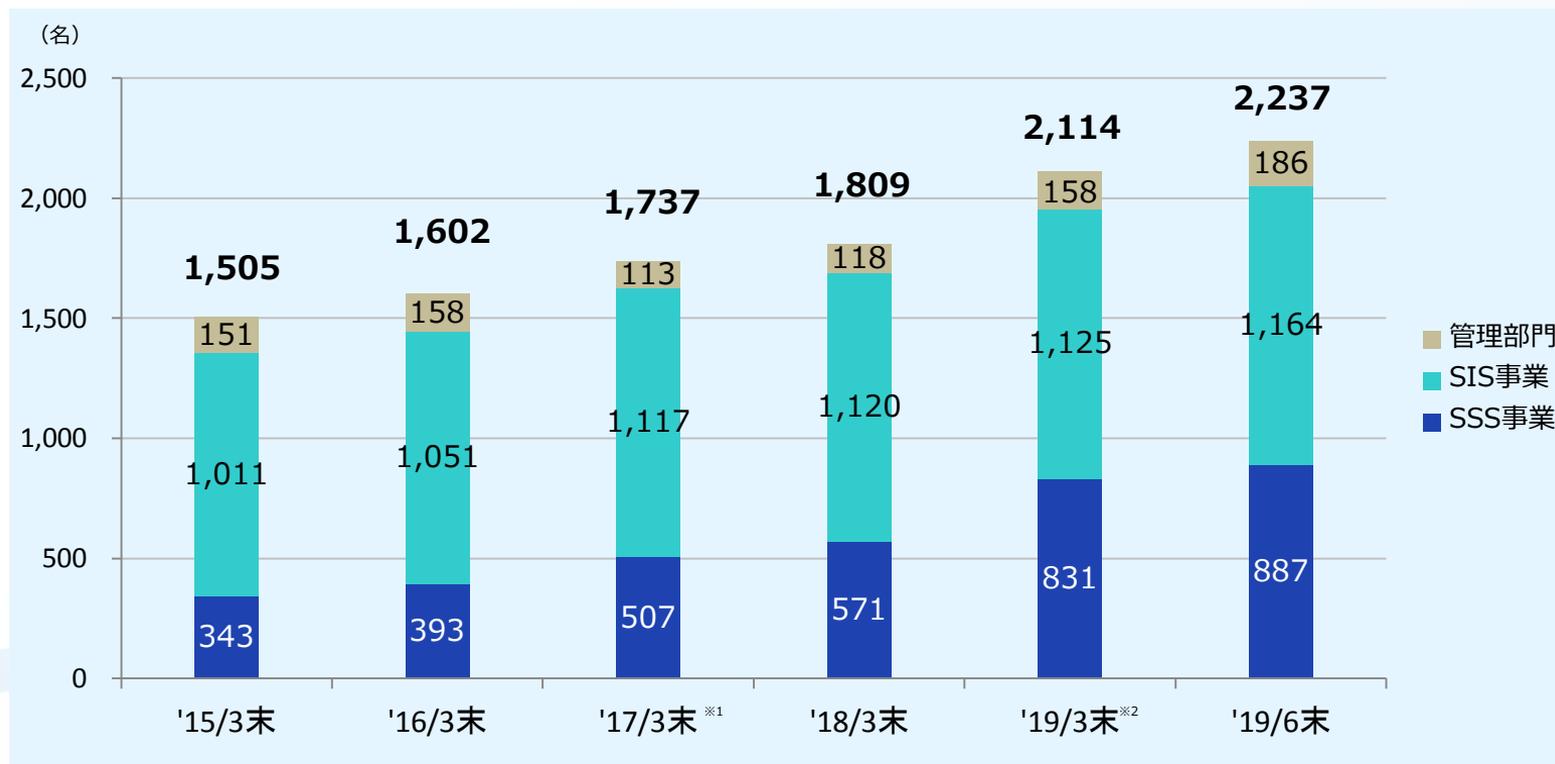
2020年3月期 セグメント別業績（1Q累計）



(百万円)

売上高	'19年3月期		'20年3月期		前年同期比	
	1Q累計実績	構成比%	1Q累計実績	構成比%	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	3,194	36.5	3,653	39.9	+459	+14.4
セキュリティコンサルティングサービス	576	6.6	517	5.6	△58	△10.2
セキュリティ診断サービス	425	4.9	423	4.6	△2	△0.5
セキュリティ運用監視サービス	1,287	14.7	1,309	14.4	+22	+1.7
セキュリティ製品販売	598	6.8	978	10.7	+379	+63.3
セキュリティ保守サービス	306	3.5	425	4.6	+118	+38.7
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	5,555	63.5	5,513	60.1	△41	△0.8
開発サービス	3,694	42.2	3,318	36.2	△375	△10.2
HW/SW販売	409	4.7	610	6.7	+201	+49.2
IT保守サービス	1,119	12.8	1,252	13.7	+132	+11.8
ソリューションサービス	332	3.8	331	3.5	△0	△0.2
合計	8,749	100.0	9,166	100.0	+417	+4.8

連結従業員数の推移



※1 2018年3月期より、定年再雇用の増加や契約の長期化などを鑑み、契約社員を含めた基準に変更しています。加えて、主に管理部門において、関連する業務に沿った事業区分に見直しています。なお、SSS、SISの両事業に携わる従業員について、稼動状況を踏まえた区分としております。2017年3月末の人員数は同基準により遡及して算出していますが、2016年3月末以前については従来基準の従業員数となっています。

※2 2019年3月期以降のSSS事業における連結従業員数は、2018年4月2日に子会社化した(株)アジアリンクの従業員が含まれています。

■ 「TeamViewer」によるリモート接続ソリューションで支援（2019年4月）

業務の効率化や働き方の多様化といった業務変革に取り組む企業に対し、セキュアで効果的なリモート接続ソリューションを活用した支援を行うため、TeamViewerジャパン(株)との包括的なパートナー契約を締結し、協業を開始。

リモート接続製品「TeamViewer」に、ラックのセキュリティ対策の知見を活用することで、安全にリモート接続ソリューションを提供することが可能。

■ TISとクラウドおよびセキュリティ領域で協業（2019年5月）

TIS(株)と、クラウドサービスおよびセキュリティサービスの領域において協業。

マルチクラウド分野で豊富な実績とノウハウを持つTISとセキュリティ分野において業界屈指の知見を有するラックの双方の強みを活かし、金融、製造・サービスなどのエンタープライズ企業および公共分野向けにサービスを共同で展開。

■ サポート終了製品の延命支援サービスの提供を開始（2019年6月）

サポート終了を間近に控えたWindows Server 2008を利用するユーザーに対して、マイクロソフト社のクラウド環境へ移行し3年間の延命を実現する「セキュリティ診断付Azure移行支援サービス」の提供を開始。

クラウドへ移行したシステムのセキュリティ診断を行い、クラウド利用のセキュリティ上の懸念を解消。

■ 無料調査ツール「FalconNest」にメモリ領域の検査機能を追加（2019年7月）

セキュリティ調査ツール「FalconNest（ファルコンネスト）」に、PCのメモリ領域を調査しマルウェアを検知する機能「Phantom Seeker（ファントムシーカー）」を新たに追加し公開。

マルウェアの主な機能をメインメモリ内に巧妙に潜ませる手法に対応し、既存の「Live Investigator」「Malware Analyzer」とあわせて、マルウェア感染で必要となる初期調査対応を概ねカバー。



■ 英国Assuria社とサイバーセキュリティ事業協業について発表（2019年7月）

海外で事業展開を行う日系企業のセキュリティ対策の支援強化に向けて、セキュリティ監視領域を中心に協業開始。

海外市場で実績のあるAssuria製品と、ラックが日本で培ったサイバーセキュリティの知見・運用ノウハウを活かしたセキュリティサービスを共同で開発し、国内とASEAN地域からサービス展開することを目的に協業。将来、ASEAN地域での実績を元にその他地域へのサービス展開も視野。

■ HashiCorp Japan社と認証・認可情報管理ソリューションで協業開始（2019年8月）

認証・認可情報（以下 シークレット情報）管理ソリューションの普及を目指した協業を開始。

システム開発者や運用担当者は、「Vault（ヴォルト）」を活用することで、統一のセキュリティポリシーのもと複数のクラウド環境下で自動的にIDやパスワードなどの認証情報を適切に管理・保護でき、セキュリティ確保のための管理負担を大きく抑制することが可能。





- ※ 本資料は2019年8月現在の情報に基づいて作成しており、記載内容は予告なく変更される場合があります。
- ※ LAC、ラック、JSOC、サイバー救急センターは株式会社ラックの登録商標です。
- ※ その他記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

株式会社ラック

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-16-1
平河町森タワー
Tel 03-6757-0107 (IR直通)
ir@lac.co.jp
www.lac.co.jp